

ご質問・VEご提案・見積依頼 など、どのような件でもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



特殊基礎工事

第47号

新技術情報

平成22年3月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町28番2号

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641

[URL] <http://www.ko-marutaka.co.jp>

[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

海外への挑戦

日本の建設分野における環境(橋梁)技術を発表

主催: 日本 国土交通省/タイ王国 天然資源・環境省 「日本-タイ 建設会議」

出席

タイ天然資源・環境省 スウィット・クンキティ大臣
国土交通省国土交通審議官 竹歳誠 様
国際建設市場室国際建設交渉官 小森岳 様
在タイ日本国大使館駐タイ王国特命全権大使 小町恭二 様
高知県シンガポール事務所所長 段田芳郎様
両国建設関連企業、環境関連企業他



この会議は、地場建設企業等が保有する海外展開可能な環境技術を、環境に関心のある企業や関係行政機関等に広く周知し、環境問題の解決・改善に向けた取組みを積極的に推進し幅広い環境ビジネス展開を支援する為に、日本とタイ天然資源・環境省との共催により開催されました。セミナーでは、タイの発注機関、関連企業等に対し、CDM(クリーン開発メカニズム)を含めた環境政策の紹介や、タイの建設分野において求められる建設分野における環境対策への取組みが紹介され、さらに、環境問題の解決・改善に役立ち海外でもアピール性のある技術を有する地場建設企業が参加し環境技術についての講演が行われました。

昨年11月、北九州国際会議場にて開催された、環境技術の活用事例を紹介する「環境ビジネス展開セミナー」に引き続き、高知丸高は環境に優しく短工期で施工できる「ステップブリッジ」について発表をしました。

セミナーには、約150名の参加者がおり、講演者と参加者の間で活発な意見交換や質疑応答が行われ、インフラ整備における環境技術に関する理解を共有しました。



在タイ日本大使館
駐タイ王国特命全権大使 小町恭士様 挨拶

「建設業は日タイ両国によって重要な産業であり、日本は従来から環境問題に高い優先度を置いて取り組んでおり、日本の建設業は環境面で優れた技術を有している。本日の会議で両国関係者の意見交換が行われる事は意義深いものである。」

国土交通省 国土交通審議官 竹歳誠様 挨拶

「我が国は、2020年に温室効果ガスを1990年比で25%削減するとの目標を掲げ、この目標のため様々な取り組みを行っている。我が国がこれまで培ってきた環境配慮の技術やノウハウは貴国のインフラ整備における環境対策と経済発展に貢献できるものです。」



タイ王国 天然資源・環境省
スウィット・クンキティ大臣 挨拶

「タイではグリーンビルディングという動きがあり、タイでも環境配慮型の建設工事を進めてきている。省エネだけではなく、地球環境問題対策として建設会社は今様々な取り組みを始めている。本会議では、日本の知識、経験を共有する場となる事をおおいに期待する。」

会場:タイ シャングリ・ラ ホテル



高知県出席者

高知丸高代表取締役 高野広茂
高知県シガホール事務所長 段田芳郎
高知丸高東京営業所長 藤本



今回の会議では、日本の持つ環境技術をタイ王国側に知ってもらえることができました。タイの経済は急速に発展しており、都市部では大型ビルが多く建設され、またその一方、大気汚染やごみ問題、水質汚濁等のような都市問題が起こっているのも事実です。タイでは持続可能な開発・発展を目指し様々な行動を起こしており、環境に関する施策も講じていますが、その施策も先進国の援助がなくては行えない事が多く、日本やその他の先進国が協力をし続けることが重要と感じました。

最後に、中小企業の海外進出において

弊社はメコン流域（タイ・ベトナム・カンボジア・ラオス・中国・インドネシア等）へ「ステップブリッジ」の営業展開を行う中、特に生活道としての橋、少数民族が住む地域のインフラ整備、災害時の緊急橋（中国四川）など、現地へ赴けばこれもあれもと数多くの要望がある中、公共工事は必ず最初の物件は後進国への援助で…との要求が出てきます。中小建設業者が海外工事に取り組むには国の後押しやODA事業への参加、又契約等も国に携わってもらわないと「中小建設業が海外へ」ということに、おいそれとは出れないのが現状です。

配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。